

## ガザ攻撃即刻中止を

世界平和アピール七人委声明

世界平和アピール七人委員会は4日、アピール「イスラエルはガザへの攻撃を直ちに中止すべきである」を発表しました。

ハマスによる民間人殺害や人質作戦を含むテロ行為は決して許されるものではないとした上で、その報復として続けられているイスラエルのガザへの総攻撃は「人間として、決して正規できないジェノサイドに等しい」と厳しく非難。

10月の国連決議「民間人の保護と法的・道的義務の遵守（じゅんしゅ）」への支持を表明し、「イスラエルとパレスチナ双方の当事者に、人類社会の多様性を認め、眞の『人間同士』として、その尊嚴を尊重し合い、武力に頼らないで相手と対話をすること」を強く要請。日本政府は人

道的な観点に立って、平和のための支援に最善の努力を行るべきだと訴えています。

同委員会のメンバーは、大石芳野、小沼通二、池内了、池辺晋一郎、高村薰、島崎進、酒井啓子の各氏。